

第1学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
教科書	美術1(光村図書)
副教材	美術資料(秀学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を工夫して表している。 	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ 授業の様子や発言内容 ワークシート等への記述内容 作品 テスト(小テスト・実技テスト・定期テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ 授業の様子や発言内容 ワークシート等への記述内容 作品 テスト(小テスト・実技テスト・定期テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ 授業の様子や発言内容 ワークシート等への記述内容 作品 テスト(小テスト・実技テスト・定期テスト)

3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 主題(自分の表したいこと)をもって制作に取り組みましょう。 主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 作品について感じたことを友達とじっくり話し合ひましょう。 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 いろいろなものをよく見ましよう。また、いつも見ているもの、身近なものでも、見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ということをしてみましょう。

4 主な題材・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学期	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術との出会い ・中学校美術の世界へようこそ ・この教科書で学ぶみなさんへ <p>○見つめ感じ取り、描く (絵画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆デッサン <p>「紙コップ」</p> <p>「ペットボトル」</p> <p>○響きあう形と色 (絵画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水彩絵の具の基本・表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、1年生で学ぶことや、3年間の学習の見通しをもつ。 <p>身近なものがもつ美しさやよさに関心を持ち、感じ取った特徴や、ものに対する自分の思いを基に主題を生み出し、構図や色などを工夫して表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題を基に、自分なりに工夫して構想を練る。 ・描きたいものを形や色彩、光などから捉え、材料や用具を工夫して表す。 ・ものをよく見たり、触ったりして特徴を捉える。 ・鉛筆の特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。 <p>抽象表現に関心を持ち、主題に合わせて色彩・形・材料の構成を工夫し、独自の世界観を形や色で響き合わせる力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・描画材（絵の具、クレヨン、マーカー等）の特性や、色の特徴（明度、彩度、色相）を活かして表現する。
2 学期	<p>○自然の色や形を見つめて (彫塑)</p> <p>「粘土制作」</p> <p>○色の特徴・色の効果と配色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩の基本・仕組み 	<p>自然物の造形に関心を持ち、様々な感覚を通して捉えた形や色彩、質感をもとに主題を生み出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題をもとに、形や色彩などの構想を練る。 ・形や色彩、材料などを工夫して制作する。 ・互いの作品を鑑賞しあい、表現の意図や工夫について理解を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ・色相環など、色の基本や仕組みを理解する。
3 学期	<p>○体感ミュージアム（鑑賞）</p> <p>「風神・雷神増」</p> <p>○文字で楽しく伝える (デザイン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の基本 	<p>日本の古くからの彫刻や屏風の作品を鑑賞し、それぞれの良さを感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屏風の構図、彫刻の表情や動きから、作品の特徴を捉える。 ・作者の表現の意図や工夫を考えて、作品の見方や感じ方を広げる。 ・作品の特徴や表現の工夫を考えて鑑賞する活動に楽しく取り組む。 <p>生活の中にある文字の工夫を考えて、役割や働きについて見方を広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レタリングの基本となる明朝体やゴシック体の特徴を理解する。 ・意図に応じて書体を選択する。